

# ちっちゃな自然 み〜つけた！

NO.135

自 然 を 愛 そ う 那 須 塩 原



アリグモの一種 撮影日時:2014/11/24/13:11 撮影場所:西三島

## ただのアリに見えるけど…？

写真をよ〜く見てください。実はただのアリではありません。

これは、アリグモと呼ばれるクモの仲間で、庭や公園などで見かけるアリにとても似ています。おしりから糸を出していなければ、なかなかクモと気付くのは難しいですね。

それでは、アリとアリグモの違いを見ていきましょう。最も分かりやすいのは脚の本数。通常、昆虫の脚は6本、クモは8本あります。アリグモは前の2本の脚を上下左右に振り回して、まるでアリが触角で探るようなしぐさをします。次に、頭を見てみると、本物のアリは大きな眼(複眼)が2つあるのに対し、クモは8つの眼(単眼)を持っています。

ところで、アリグモはどうしてこのような姿をしているのでしょうか。アリの集団に紛れ込んでアリを食べているのではないか、アリの攻撃を恐れる生

き物から身を守るためではないか、などいろんな説がありますが、まだはっきりとした定説はないようです。

この写真のアリグモを見つけたのは小学6年生の男の子です。わずかな違いを見分けるすどい観察力に感心してしまいました。

じゅんじ



こちらが本物のクロヤマアリ

